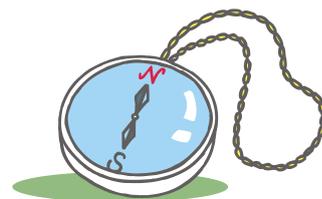


# 羅 針 盤

第 12 号

令和5年7月20日（木）



## ◆ 節（ふし）ありて竹強し

明日から35日間の夏季休業期間、いわゆる夏休みに入ります。昨年度と同様に、通常での夏季休業期間を実施します。日常の学校生活とは違って、学校という場所を離れての新たなる学びが構築できるよう、有意義な時間を過ごしてほしいと思います。始業式の日には、生徒の皆さん一人ひとりが自主・自立の確立に向けて、心掛けてほしい3つの事から『あ・ひ・る』についての話をしました。「あいさつができる人になる」、「人の話を素直に聴くことができる人になる」、「ルールを守ることができる人になる」これらの心掛けてほしい3つのことらについて、どこまで実行することができるようになり了吗？1学期の終業式を迎える今日のこの日に、是非一度しっかりと振り返ってみて、一人ひとりが責任ある行動をとって充実した学校生活を過ごせたのかを自分自身に問いかけてみてもらいたいと思います。また、この1学期に実施された校外での活動として、1年生は5月11日（木）～12日（金）に取り組んだ一泊移住、2年生では6月14日（水）に取り組んだ平和学習のフィールドワーク、そして、3年生は6月13日（火）～15日（木）に取り組んだ修学旅行を今一度しっかりと振り返り、学級あるいは学年としての成果を再構築してもらいたいと思います。その成果は、必ず2学期に行われる学校行事や学年行事の成功へと結びついていくものであると思います。現時点での目標として掲げてきたことの到達点を見据えて、更なる成長を望みながら、引き続き2学期も有意義な学校生活を過ごし、「共に学び行く力」を蓄えて、「共に育ち行く仲間との繋がり」を深めていってほしいと思います。

さて、「節（ふし）ありて竹強し」という言葉を生徒の皆さんは聞いたことがあるでしょうか。竹には「節」があります。だからこそ、折れにくく、そして、まっすぐに成長していくことができます。学校の活動では、学年や学期、夏休みなどの長期休業といった節目があります。この節目ごとに、自分自身の行動を顧みて、自分の努力不足などを発見して、それをどのようにして補っていけばよいのかといったことを考えることがとても大切なことです。1学期がスタートした時に立てた「目標」をクリアしていくために、努力を積み重ねた結果としてどれだけのことを実現することができてきたのか、当たり前のことを当たり前として捉えて、きちんと実行することができてきたのか、といったようなことを振り返りながら、そして、今後の自分自身の成長へとつなげていくための更なる努力といったものを是非とも積み重ねていってほしいと思います。



明日より35日間の夏季休業期間に入ります。長期にわたる夏休みでとなりますが、ご家庭でも、健康には十分な注意を払いながら、子どもたちが規則正しい生活を過ごせますよう、ご指導をお願いいたします。また、2学期以降も引き続き、城陽中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開して参りますので、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくをお願いいたします。（校長 坂井伸治）

